
ドライバーへの「マスク着用」の徹底

新型コロナ感染拡大防止のため、休校中
予期しない時間帯、予期しない場所に…いるかもしれない

外出自粛、子供たちは休校中…住宅街の走行は、『徐行』、『安全確認』

高齢者、子どもの、『まさか』の動きに注意 『かもしれない』運転で、事故防止

分かっている…飲酒運転する人間を、どうやってやめさせるか？
情けないけれど…「罰則の強化」…しかないのか？

ダンプと衝突、原付バイクの83歳男性死亡

◇高齢者、子どもの、『まさか』の動きに注意、『かもしれない』運転で、事故防止◇

2020/5/12(火) 7:55

11日午前9時10分ごろ、埼玉県の河川管理用道路で、男性(83)の原付バイクと、会社員の男性(72)のダンプが衝突し、原付バイクの男性は頭を強く打ち死亡が確認された。ダンプの男性にけがはなかった。警察が事故原因を調べている。

酒気帯び運転で死亡事故 元県職員に懲役2年

「夜光反射材を着け、横断歩道を渡っていた被害者をはね、
死亡させた過失は大きい」

◇分かっている…飲酒運転する人間を、どうやってやめさせるか？◇

◇情けないけれど…「罰則の強化」…しかないのか？◇

2020/5/11(月) 16:26

今年2月、酒を飲んで乗用車を運転し、女性(87)をはねて死亡させたとして、酒気帯び運転などの罪に問われた元県職員の男(56) = 懲戒免職 = に対し、地方裁判所は11日、懲役2年(求刑3年6か月)の実刑判決を言い渡しました。地裁の裁判官は「夜光反射材を着け横断歩道を渡っていた被害者をはね死亡させた過失は大きい」などとして、懲役2年の実刑判決を言い渡しました。